

2019年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	110 数
一般病院	554 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	44 数
合計	802 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	2,601 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	215 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	320 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	19.6 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	157 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	56 数
常勤	1,415 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	55 数
非常勤	1,170 数	6 : それ以外	339 数
		合計	数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい 1353 数	いいえ 239 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	4,667 数	常勤	3,834 数
② 経験年数		非常勤	795 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	18.1 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数	検診数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	2,705,652	118,732	20,019	42,540	2,886,943	128,718	466,120
呼吸器	841,768	31,430	66,725	52,314	992,186	201,995	
消化器	78,058	27,214	24,438	8,261	138,030	46,129	
泌尿器	1,688,167	140,122	43,385	2,342	1,873,999	96,619	
乳腺	90,245	20,239	21,393	25,137	157,003	31,153	
甲状腺	89,523	19,282	11,741	20,010	140,588	13,024	
体腔液	237,790	18,464	46,817	1,162	304,222	84,592	
リンパ節	27,751	6,466	22,144	4,687	61,049	25,719	
その他	97,579	18,681	13,000	6,791	136,061	24,833	
小計	5,856,533	400,630	269,662	163,256	6,690,081	572,010	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比件数	検診数
16,122	10,347,515	243,133	38,276	166,716	93,724	14,828	7,957	5,651	557	1,530	10,936,009	238,907	2,749,714

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	3,374	148	25	53	3,600	160
呼吸器	1,050	39	83	65	1,237	252
消化器	97	34	30	10	172	58
泌尿器	2,105	175	54	3	2,337	120
乳腺	113	25	27	31	196	39
甲状腺	112	24	15	25	175	16
体腔液	296	23	58	1	379	105
リンパ節	35	8	28	6	76	32
その他	122	23	16	8	170	31
小計	7,302	500	336	204	8,342	713

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
20	12,902	303	48	208	117	18	10	7	1	2	13,636

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	3,744 数	医師	3,742 数	プログラム	1,500 数
技師参加者	11,732 数	技師	11,720 数	成績(平均)	83.7 %
合計	15,476 数	参加者	15,462 数		

2019年度 大学附属病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	110 数
一般病院	554 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	44 数
合計	802 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	620 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	16 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	40 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	13.5 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	9 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	6 数
常勤	512 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	7 数
非常勤	108 数	6 : それ以外	25 数
		合計	103 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	62 数
		いいえ	18 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	770 数	常勤	723 数
② 経験年数		非常勤	43 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	14.3 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判別別件数

施設総合計	判別別件数					組織診断対比件数	検診数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	164,675	15,578	5,107	8,320	193,680	29,561	8,309
呼吸器	62,797	7,100	15,987	4,856	60,689	9,180	
消化器	19,767	7,915	6,722	3,005	37,468	15,038	
泌尿器	166,381	20,140	7,781	343	194,628	26,799	
乳腺	6,581	1,891	2,907	2,742	14,110	5,278	
甲状腺	15,637	4,239	3,275	5,042	28,225	4,276	
体腔液	65,463	4,768	11,318	444	81,982	28,247	
リンパ節	7,973	2,082	6,898	1,618	18,572	7,961	
その他	30,355	5,960	4,021	2,044	42,390	10,112	
小計	539,629	69,673	64,016	28,426	701,744	158,909	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比件数	検診数
1,906	358,037	17,492	4,926	13,916	14,299	2,452	2,046	1,533	128	439	417,174	34,445	45,140

② 判別別件数・施設数(平均)

施設総合計	判別別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,497	142	46	76	1,761	269
呼吸器	571	65	145	44	552	83
消化器	180	72	61	27	341	137
泌尿器	1,513	183	71	3	1,769	244
乳腺	60	17	26	25	128	48
甲状腺	142	39	30	46	257	39
体腔液	595	43	103	4	745	257
リンパ節	72	19	63	15	169	72
その他	276	54	37	19	385	92
小計	4,906	633	582	258	6,379	1,445

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
17	3,255	159	45	127	130	22	19	14	1	4	3,792

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	943 数	医師	943 数	プログラム	194 数
技師参加者	2,006 数	技師	2,006 数	成績(平均)	98.7 %
合計	2,949 数	参加者	2,949 数		

2019年度 一般病院 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	110 数
一般病院	554 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	44 数
合計	802 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	1,360 数	1: 定期的に週2回以上勤務	66 数
② 経験年数		2: 毎週1回勤務: 3時間以上	216 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	19.5 年	3: 毎週1回勤務: 1時間~3時間未満	36 数
③ 常勤か非常勤		4: 2週間に1回勤務: 3時間以上	38 数
常勤	834 数	5: 2週間に1回勤務: 1時間~3時間未満	29 数
非常勤	516 数	6: それ以外	119 数
		合計	514 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	402 数
		いいえ	55 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	2,413 数	常勤	2,253 数
② 経験年数		非常勤	140 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	15.3 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数	検診数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	638,740	42,229	10,168	15,350	706,489	65,670	150,919
呼吸器	182,703	16,458	45,953	14,220	259,334	42,769	
消化器	39,741	15,477	16,337	4,681	76,236	29,491	
泌尿器	496,971	58,065	24,462	1,184	580,682	60,138	
乳腺	29,505	6,867	10,172	9,138	55,682	20,268	
甲状腺	49,247	10,189	6,730	11,213	77,379	7,957	
体腔液	135,860	9,561	28,269	451	174,141	52,811	
リンパ節	17,136	3,842	1,395	2,663	37,236	17,061	
その他	44,699	6,757	7,052	3,700	62,208	13,408	
小計	1,634,602	169,444	162,738	62,600	2,029,385	348,946	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比件数	検診数
6,343	1,583,751	57,006	12,645	41,186	31,561	5,249	3,229	2,522	173	858	1,744,523	110,948	505,125

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	1,153	76	18	28	1,275	119
呼吸器	330	30	83	26	468	77
消化器	72	28	29	8	138	53
泌尿器	897	105	44	2	1,048	109
乳腺	53	12	18	16	101	37
甲状腺	89	18	12	20	140	14
体腔液	245	17	51	1	314	95
リンパ節	31	7	3	5	67	31
その他	81	12	13	7	112	24
小計	2,951	306	294	113	3,663	630

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
8	2,859	103	23	74	57	9	6	5	0	2	3,149

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	2,044 数	医師	2,041 数	プログラム	974 数
技師参加者	6,389 数	技師	6,382 数	成績(平均)	98.0 %
合計	8,433 数	参加者	8,423 数		

2019年度 個人医療機関 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	110 数
一般病院	554 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	44 数
合計	802 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数	④ 非常勤の場合の勤務形態		
細胞診専門医数	3 数	1: 定期的に週2回以上勤務	0 数
② 経験年数		2: 毎週1回勤務: 3時間以上	0 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	36.3 年	3: 毎週1回勤務: 1時間~3時間未満	0 数
③ 常勤か非常勤		4: 2週間に1回勤務: 3時間以上	0 数
常勤	3 数	5: 2週間に1回勤務: 1時間~3時間未満	0 数
非常勤	0 数	6: それ以外	0 数
		合計	0 数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	0 数
		いいえ	0 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	4 数	常勤
② 経験年数		非常勤
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	38.8 年	3 数
		1 数

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	検診数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	1,479	44	14	12	1,549	79	0
呼吸器	79	0	0	0	0	0	
消化器	0	0	0	0	0	0	
泌尿器	30	0	2	0	32	1	
乳腺	19	4	8	4	35	18	
甲状腺	0	0	0	0	0	0	
体腔液	1	0	0	0	1	0	
リンパ節	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	1	0	1	0	
小計	1,529	48	25	16	1,618	98	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比件数	検診数
19	12,088	277	48	287	141	9	7	6	2	1	12,885	549	1,912

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	493	15	5	4	516	26
呼吸器	26	0	0	0	0	0
消化器	0	0	0	0	0	0
泌尿器	10	0	1	0	11	0
乳腺	6	1	3	1	12	6
甲状腺	0	0	0	0	0	0
体腔液	0	0	0	0	0	0
リンパ節	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0
小計	510	16	8	5	539	33

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
6	4,029	92	16	96	47	3	2	2	1	0	4,295

V 学会・研修会参加記録	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	VI 精度管理参加記録
専門医参加者	5 数	医師
技師参加者	20 数	技師
合計	25 数	参加者
		プログラム
		成績(平均)
		5 数
		91.4 %

2019年度 登録衛生検査所 合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	110 数
一般病院	554 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	44 数
合計	802 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数		④ 非常勤の場合の勤務形態	
細胞診専門医数	454 数	1 : 定期的に週2回以上勤務	125 数
② 経験年数		2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上	59 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均)	21.9 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満	81 数
③ 常勤か非常勤		4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上	10 数
常勤	52 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満	6 数
非常勤	399 数	6 : それ以外	107 数
		合計	数
		勤務実態を証明する書類の提出が可能か否	
		はい	219 数
		いいえ	109 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数		③ 常勤か非常勤	
細胞診検査士数	1,128 数	常勤	574 数
② 経験年数		非常勤	553 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均)	24.1 年		

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数	検診数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数		
婦人科	1,716,826	56,086	4,443	15,311	1,792,666	31,483	151,142
呼吸器	500,216	6,942	4,147	27,049	538,354	85,509	
消化器	18,051	3,736	1,281	567	23,635	1,590	
泌尿器	1,010,606	61,349	10,923	793	1,083,671	9,585	
乳腺	52,862	11,337	7,980	12,974	85,153	5,473	
甲状腺	21,973	4,674	1,591	3,627	31,865	786	
体腔液	35,792	4,091	7,086	266	47,235	3,483	
リンパ節	2,559	527	1,611	390	5,087	689	
その他	55,141	5,915	1,909	1,030	30,995	1,292	
小計	3,381,026	154,657	40,971	62,007	3,638,661	61,622	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比件数	検診数
6,593	6,787,131	152,805	17,433	100,391	41,517	6,028	2,299	1,375	185	196	7,115,953	76,993	1,082,010

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断 対比件数
	陰 性	疑陽性	陽 性	材料不適	合計件数	
婦人科	18,866	616	49	168	19,700	346
呼吸器	5,497	76	46	297	5,916	940
消化器	198	41	14	6	260	17
泌尿器	11,106	674	120	9	11,908	105
乳腺	581	125	88	143	936	60
甲状腺	241	51	17	40	350	9
体腔液	393	45	78	3	519	38
リンパ節	28	6	18	4	56	8
その他	606	65	21	11	341	14
小計	37,154	1,700	450	681	39,985	677

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
72	74,584	1,679	192	1,103	456	66	25	15	2	2	8,873

V 学会・研修会参加記録		V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)		VI 精度管理参加記録	
専門医参加者	550 数	医師	551 数	プログラム	224 数
技師参加者	2,439 数	技師	2,436 数	成績(平均)	96.4 %
合計	2,989 数	参加者	2,987 数		

2019年度 施設情報 総合計

I 病院別数

①施設の区分	
大学附属病院	110 数
一般病院	554 数
個人医療機関	3 数
登録衛生検査所	91 数
検診機関	44 数
合計	802 数

II 所属専門医

① 細胞診専門医数	④ 非常勤の場合の勤務形態
細胞診専門医数 157 数	1 : 定期的に週2回以上勤務 8 数
② 経験年数	2 : 毎週1回勤務 : 3時間以上 5 数
経験年数合計/細胞診専門医数 (平均) 27.2 年	3 : 毎週1回勤務 : 1時間~3時間未満 31 数
③ 常勤か非常勤	4 : 2週間に1回勤務 : 3時間以上 2 数
常勤 14 数	5 : 2週間に1回勤務 : 1時間~3時間未満 10 数
非常勤 143 数	6 : それ以外 87 数
	合計 143 数
	勤務実態を証明する書類の提出が可能か否
	はい 111 数
	いいえ 27 数

III 所属検査士

① 細胞診検査士数	③ 常勤か非常勤
細胞診検査士数 353 数	常勤 294 数
② 経験年数	非常勤 59 数
経験年数合計/細胞診検査士数(平均) 24.9 年	

IV 細胞診断に関する統計量

① 判定別件数

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数	検診数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数		
婦人科	181,411	4,749	278	3,515	189,953	1,826	155,750
呼吸器	94,348	909	635	6,189	102,081	1,304	
消化器	495	76	97	8	676	5	
泌尿器	12,473	369	191	22	13,055	53	
乳腺	1,267	138	325	279	2,009	112	
甲状腺	2,666	179	145	128	3,118	5	
体腔液	609	39	137	1	786	30	
リンパ節	83	15	40	16	154	8	
その他	303	24	15	17	359	4	
小計	293,655	6,948	1,863	10,175	312,191	2,230	

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数	組織診断対比	検診数
1,261	1,572,302	14,987	3,134	10,786	6,105	1,068	364	208	69	36	1,610,320	15,524	1,112,310

② 判定別件数・施設数(平均)

施設総合計	判定別件数					組織診断対比件数
	陰性	疑陽性	陽性	材料不適	合計件数	
婦人科	4,123	108	6	80	4,317	42
呼吸器	2,144	21	14	141	2,320	30
消化器	11	2	2	0	15	0
泌尿器	283	8	4	1	297	1
乳腺	29	3	7	6	46	3
甲状腺	61	4	3	3	71	0
体腔液	14	1	3	0	18	1
リンパ節	2	0	1	0	4	0
その他	7	1	0	0	8	0
小計	6,674	158	42	231	7,095	51

ベセスダシステム2001に準拠した子宮頸部細胞診データ

検体不適	NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL	AGC	SCC	AdenoCa	AIS	Other	合計件数
2	35,734	341	71	245	139	24	8	5	2	1	36,598

V 学会・研修会参加記録	V-2 学会・研修会参加記録(参加者名簿)	VI 精度管理参加記録
専門医参加者 195 数	医師 195 数	プログラム 64 数
技師参加者 878 数	技師 877 数	成績(平均) 95.6 %
合計 1,073 数	参加者 1,072 数	

精度管理に関する質問調査 総合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	784	いいえ	17		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	772	いいえ	27		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	720	いいえ	80	「はい」ならば何%くらいですか	35.0 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	752	いいえ	48	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	50.9 % 5.8 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	793	いいえ	1	標本の保管年数 報告書の保管年数	29.7 年 62.5 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	796	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	791	いいえ	4		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	794	いいえ	4		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	791	いいえ	1		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	605	いいえ	188		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	357	いいえ	443	1日の最大検体数	70.2 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	541	いいえ	258		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	795	いいえ	4		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	779	いいえ	17		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	780	いいえ	17		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	749	いいえ	47		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	780	いいえ	14		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	693	いいえ	105	「いいえ」の場合何%	28.9 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	535	いいえ	260	「はい」の場合 一年何回	33.9 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	476	いいえ	296		

精度管理に関する質問調査 大学附属病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	108	いいえ	2		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	105	いいえ	5		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けられるように努めていますか？	はい	105	いいえ	5	「はい」ならば何%くらいですか	54.6 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	106	いいえ	4	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	56.2 % 1.0 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	107	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	39.9 年 77.7 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	110	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	107	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	109	いいえ	1		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	110	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	86	いいえ	22		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	32	いいえ	78	1日の最大検体数	61.7 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	65	いいえ	44		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	109	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	108	いいえ	2		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	106	いいえ	4		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	105	いいえ	8		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	107	いいえ	3		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けられていますか？	はい	101	いいえ	7	「いいえ」の場合何%	57.6 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	83	いいえ	27	「はい」の場合 一年何回	48.7 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	76	いいえ	30		

精度管理に関する質問調査 一般病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	543	いいえ	10		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	532	いいえ	18		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	500	いいえ	51	「はい」ならば何%くらいですか	36.1 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	512	いいえ	39	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	56.1 % 6.1 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	548	いいえ	1	標本の保管年数 報告書の保管年数	33.3 年 72.5 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	547	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	545	いいえ	4		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	547	いいえ	2		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	543	いいえ	1		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	387	いいえ	161		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	204	いいえ	347	1日の最大検体数	62.7 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	355	いいえ	196		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	548	いいえ	2		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	537	いいえ	12		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	537	いいえ	12		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適切な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	505	いいえ	43		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	535	いいえ	11		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	480	いいえ	72	「いいえ」の場合何%	27.6 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	333	いいえ	213	「はい」の場合 一年何回	59.3 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	285	いいえ	246		

精度管理に関する質問調査 個人病院 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」ならば何%くらいですか	10.0 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	2	いいえ	1	「はい」の場合のダブルチェック実施率 「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	18.0 % 16.0 %
	(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	3	いいえ	0	標本の保管年数 報告書の保管年数	9.0 年 74.3 年
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	3	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	2	いいえ	1	1日の最大検体数	30.0 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	3	いいえ	0		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	3	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	3	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	3	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	3	いいえ	0	「いいえ」の場合何%	%
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	3	いいえ	0	「はい」の場合 一年何回	24.0 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	1	いいえ	2		

精度管理に関する質問調査 登録衛生検査所 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	85	いいえ	5		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	88	いいえ	3		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	82	いいえ	9	「はい」ならば何%くらいですか	8.8 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	89	いいえ	2	「はい」の場合のダブルチェック実施率	21.4 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	6.5 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	91	いいえ	0	標本の保管年数	7.5 年	
					報告書の保管年数	19.1 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	91	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	91	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	90	いいえ	1		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	90	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	87	いいえ	2		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	81	いいえ	10	1日の最大検体数	72.8 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	79	いいえ	12		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	90	いいえ	1		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	89	いいえ	0		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	90	いいえ	0		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	91	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	90	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けていますか？	はい	73	いいえ	18	「いいえ」の場合何%	27.2 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	81	いいえ	10	「はい」の場合 一年何回	25.1 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	80	いいえ	8		

精度管理に関する質問調査 検診施設 合計

1. 基本的事項	(1)適切な検体採取に努めていますか？	はい	44	いいえ	0		
	(2)すべての陽性報告書に細胞検査士および細胞診専門医が署名していますか？	はい	43	いいえ	1		
	(3)陰性報告書においては、細胞検査士の署名を行い、また一定の割合で細胞診専門医の判定と署名を受けるように努めていますか？	はい	29	いいえ	15	「はい」ならば何%くらいですか	14.7 %
	(4)陰性判定標本の10%以上についてダブルチェックの実施に努めていますか？	はい	42	いいえ	1	「はい」の場合のダブルチェック実施率	38.9 %
						「いいえ」の場合のダブルチェック実施率	5.0 %
(5)細胞診断用標本および報告書等の資料を適切に保管していますか？	はい	43	いいえ	0	標本の保管年数	5.8 年	
					報告書の保管年数	8.0 年	
2. 検体の受付と検査所要時間	(1)検体の取り違えの防止や検体の量的・質的不良の発見・対処の方策を決めていますか？	はい	44	いいえ	0		
	(2)検査依頼用紙の記載事項に不足のないことを確認していますか？	はい	44	いいえ	0		
3. 細胞標本の精度管理	(1)検体処理法および染色法の向上に努めていますか？	はい	44	いいえ	0		
	(2)検体相互のコンタミネーションの防止に努めていますか？	はい	44	いいえ	0		
4. 細胞検査士の作業負荷の管理	(1)細胞検査士の検査検体数量(スクリーニング件数および標本スライド枚数)記録を作成していますか？	はい	41	いいえ	3		
	(2)細胞検査士の1日最大検体数を定めていますか？	はい	37	いいえ	7	1日の最大検体数	77.5 枚
	(3)細胞検査士の健康障害事象を記録していますか？	はい	39	いいえ	5		
5. 細胞診報告書に関する精度管理	(1)すべての報告書に報告日が記載されていますか？	はい	44	いいえ	0		
	(2)修正報告書および追加報告書が発行された場合、元の報告書とともに、保存されていますか？	はい	41	いいえ	3		
	(3)報告書の発行に当たって、誤字・脱字・記載方法の誤り、用語的にみた診断の不明確さ等を点検していますか？	はい	43	いいえ	1		
	(4)検体受付から報告書提出までの時間を管理し、不適当な報告遅延例の抽出と理由調査を行っていますか？	はい	44	いいえ	0		
6. 細胞診断に関する精度管理	(1)細胞診断の結果について、可能な限り臨床診断ないし病理組織診断との相関を検討し、不一致例においては不一致の内容を検討するよう努めていますか？	はい	44	いいえ	0		
	(2)病変の組織形を推定する必要がある陰性症例は、全例細胞診専門医の判定と署名を受けるようにしていますか？	はい	36	いいえ	7	「いいえ」の場合何%	15.0 %
	(3)細胞診院内検討会を行っていますか？	はい	34	いいえ	10	「はい」の場合 一年何回	28.1 回
	(4)細胞診院内検討会の記録を書類として保存してありますか	はい	33	いいえ	10		